N8160-96
Flash FDD

ユーザーズガイド

- 製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
  本書は熟読の上、大切に保管してください。

商標について

Microsoft とそのロゴ、および Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linux®は Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は、米国 Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Asianux は、ミラクル・リナックス株式会社の日本における登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2008 R2は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 R2 Enterprise operating systemの略称です。
Windows Server 2008は、Microsoft® Windows Server® 2008 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 Enterprise operating systemの略称です。
Windows Server 2003は、Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition operating systemまたは、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition operating system およびMicrosoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。
Windows Server 2003 x64 Editionsは、Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard x64 Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition operating systemの略称です。
Windows 7 は Microsoft® Windows® 7 Professional operating systemの略称です。
Windows Vista は Microsoft® Windows Vista® Business operating systemの略称です。

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 当社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
（4） 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（5） 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2014

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意～必ずお読みください～

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

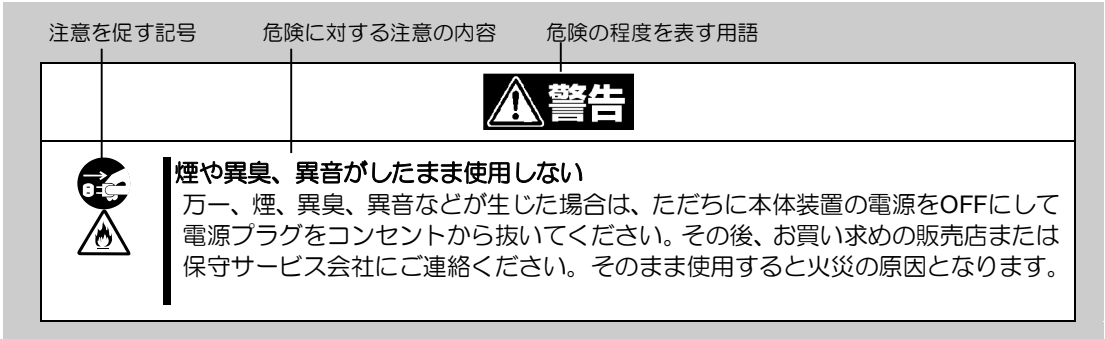
警告　人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します

注意　火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例）（感電注意）
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例）（接触禁止）
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例）(プラグを抜け)

（本書での表示例）



本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		

行為の強制

	本体装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。 これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。 その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

本製品に金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

製品内に水や異物を入れない

本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠注意

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブル・コネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本製品内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合には、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

お手入れに関する注意事項

警告

分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行なったりしないでください。
本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

注意

中途半端に取り付けない

電源コードやインターフェースケーブルは確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意

雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

ペットを近づけない

本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。 排泄物や体毛が本製品内部に入って火災や感電の原因になります。

正しく動作させるために

本製品を正しく動作させるために、次の点について注意してください。

本体装置に添付のユーザーズガイド等に記載されている注意事項も必ず読み、ご理解・ご確認の上、作業を行ってください。

- 本製品は当社が指定するサーバ製品およびワークステーション製品専用としてご使用ください。

  → 本製品を接続可能な本体装置は、販売店または当社営業にお問い合わせください。

- 本製品のアクセス LED が点滅しているときに本体装置の電源を OFF にしないでください。

  → 故障、およびデータの破損の原因となります。

- 本体装置への接続可能数について

  → 本製品の本体装置への接続可能台数は、1 台です。

  ※本体装置にフロッピーディスクドライブが接続されている場合は、必ず取り外してください。

- 下記の接続制限本体装置で、外付 DVD-ROM と同時に本製品(Flash FDD)を接続する場合は、必ず本体装置の電源を ON にしてから外付 DVD-ROM を本体装置に接続してください。

  → 本体装置の電源を ON する前に接続すると本体装置から外付 DVD-ROM が認識されません。

  <u>接続制限本体装置</u>
  Express5800/R110a-1H
  Express5800/iR110a-1H

本書について

本書は、N8160-96 Flash FDD を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。Flash FDD のセットアップを行う場合や日常使用する上で、わからないことが起きたときにご利用ください。

はじめて取り扱うときの読み方

本製品を梱包箱から取り出して、はじめて取り扱うときは次の順序で本書を参照して、セットアップをしてください。

1. 箱の中身を確認する..... 箱の中身について（→11 ページ）
2. 取り扱う上での注意事項を覚える..... 使用上のご注意（→2～7 ページ）
3. Flash FDD の部品の名前を覚える..... 各部の名称と機能（→14 ページ）
4. 本体装置に取り付ける..... 取り付け手順（→15 ページ）
5. 本体装置から取り外す ..... 取り外し手順（→16 ページ）
6. OS インストールの注意事項..... Windows 編（→18 ページ）
7. OS インストールの注意事項..... Linux 編（→19 ページ）
8. Flash FDD 仕様 ..... 本製品仕様(→24 ページ）

本文中の記号について

本文中では、次の記号を使って運用上の注意やヒントを示しています（安全上の注意事項に関する記号については巻頭の説明をご覧ください）。

重要	製品の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

その他

第三者への譲渡について

本製品または本製品に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

- 本製品本体について

  本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合は、本書を一緒にお渡しください。

- その他の付属品について

  その他の付属品もセットアップするときなどに必要となりますので、一緒にお渡しください。

重要

Flash FDD 内のデータについて

Flash FDD に保存されている大切なデータ（例えば経営情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分しておいてください。

Windows の「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータは Flash FDD に書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データ消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問合せください。

なお、データの処分をしないまま譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

製品の廃棄について

本製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールにしたがってください。
詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

重要

Flash FDD に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。
P9 の重要をご参照ください。

製品寿命について

本製品の製品寿命は 5 年または、USB コネクタの挿抜回数で 1500 回です。
なお、データの消去/書込み回数により上記の製品寿命より短くなりますので、あらかじめご了承ください。

6000 回の消去/書込み後の製品寿命は、1 年となります。

保証について

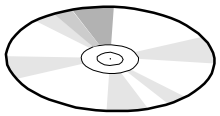
本製品は消耗品扱いのため、『保証書』は添付されておりません。

箱の中身について

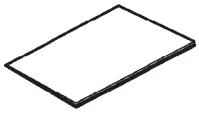
N8160-96 Flash FDD の梱包箱の中には、Flash FDD 本体以外に付属品が入っています。
下図を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。
万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

□ Flash FDD (本製品)

□ CD(ユーザーズガイド)



□ スタートアップガイド



重要

- 梱包箱や箱の中に入っていた固定用部材は、本製品を取り外して輸送する際に必要となります。大切に保管しておいてください。

目　次

商標について.....1

使用上のご注意～必ずお読みください～.....2

安全にかかわる表示について.....2
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容.....3
安全上のご注意.....4
正しく動作させるために.....7
本書について.....8
　はじめて取り扱うときの読み方.....8
　本文中の記号について.....9
その他.....9
　第三者への譲渡について.....9
　製品の廃棄について.....10
　製品寿命について.....10
　保証について.....10
箱の中身について.....11
目　次.....12

Flash FDD について.....13

各部の名称と機能.....14
取り付け手順.....15
取り外し手順.....16
　Windows OS の場合.....16
　Linux OS の場合.....17
OS インストールの注意事項（Windows 編）.....18
　シームレスセットアップ.....18
　マニュアルセットアップ.....18
OS インストールの注意事項（Linux 編）.....19
ドライバディスクの作成について.....19
ドライバディスクの接続について.....19
　マニュアルセットアップ.....19
　シームレスセットアップ.....19
インストール時に「警告」メッセージが表示された場合.....21
取り扱い上の注意事項.....22
　使用上のご注意.....22
　一般的注意事項.....22

製品仕様.....24

運用状況お客様記入シート.....25

トラブルシューティングチェックリスト.....26

Flash FDD について

- 本製品はフロッピーディスクドライブと容量互換の装置です。
- Flash FDD は、以下の容量を記憶できます。

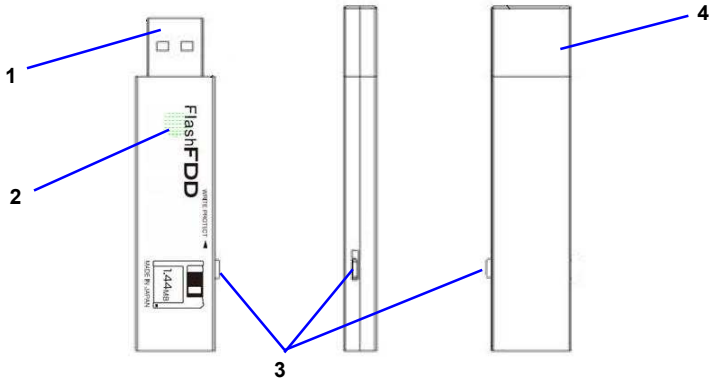
記憶容量	出荷時フォーマット
1.44Mbyte	FAT

重要

- **Flash FDD** のフォーマットは、必ず **Windows OS** で実施してください。
- **Flash FDD** の **boot** 順位が **IDE CD** および **USB CDROM** より低くなるように本体装置の **BIOS** を設定してください。
- **Flash FDD** は消耗品です。
  エラーが発生した **Flash FDD** は使い続けず、新しい **Flash FDD** を使用してください。
- **Flash FDD** は **OS** インストール時のデバイスドライバの読み込み用などの一時的な使用にとどめ、データのバックアップ用としては使用しないでください。

各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能について説明します。



1 USB コネクタ

本体装置の USB コネクタへ接続します。

2 アクセス LED

データの書込みまたは読み出し中に点滅します。

3 ライトプロテクトスイッチ

ライトプロテクトスイッチを◀側にスライドさせると、本製品へのデータ書込みが禁止されます。

また、ライトプロテクトスイッチを◀側と反対側にスライドさせると、本製品へのデータ書込み可能となります。

重要

- 本製品のライトプロテクトスイッチは、本体装置へ接続する前の状態が反映されます。そのため、本体装置接続後にライトプロテクトスイッチを操作しても無効です。
使用中にライトプロテクトスイッチの状態を変更する必要がある場合は、本製品を一旦、本体装置から取り外し、ライトプロテクトスイッチの状態を変更してください。
- 本体装置への取り付け、取り外しの際にライトプロテクトスイッチを誤ってスライドさせない様に注意してください。

4 キャップ

本製品を保管するときは、必ず USB コネクタ部にキャップをしてください。

取り付け手順

本製品を Express5800 シリーズ製品などの「本体装置」に取り付けるまでの手順を説明します。

重要

- 本製品は USB ハブを経由しての接続は不可となります。
  本体装置の USB コネクタへ直接接続してください。
- 本製品を本体装置の USB コネクタに挿入したまま本体装置を移動しないでください。
  本製品の故障の原因となります。
- 使用後は、本体装置から本製品を取り外してください。

接続手順

1. 本体装置への接続
   キャップを取り外し、本体装置の USB コネクタへ本製品の USB コネクタを接続します。

取り外し手順

本製品を本体装置から取り外すときは、本製品のアクセスランプが点滅または点灯していないことを確認してから、取り外してください。

Windows OS の場合

Windows OS 動作中は、必ず OS 上での取り外し操作を実施した後、本製品のアクセス LED が消灯していることを確認してから、取り外してください。

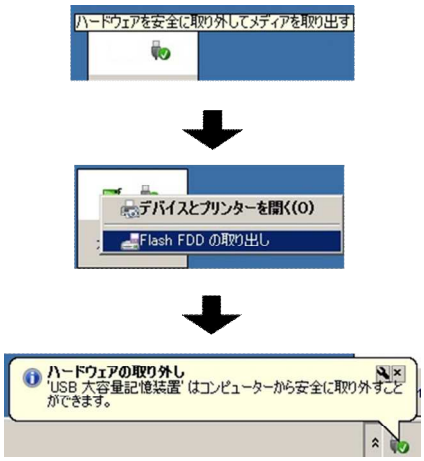
重要

- 本製品のアクセス LED の点滅中に本体装置から取り外すとデータが破壊されるおそれがあります。

Windows OS 動作中に本製品の取り外し操作を実施するためには、タスクバー上に表示される下記の名称のアイコンから行います。

◆ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す。

表示例(Windows Server 2008 R2 の場合)



Linux OS の場合

Linux OS 動作中は、必ず OS 上での取り外し操作を実施した後、本製品のアクセス LED が消灯していることを確認してから、取り外してください。

重要

- 本製品のアクセス LED の点滅中に本体装置から取り外すとデータが破壊されるおそれがあります。

Linux OS 動作中に本製品の取り外し操作を実施するためには、Flash FDD のデバイスをアンマウントします。

以下は、コマンドプロンプトからの操作例です。
Flash FDD デバイスのマウント先(/media/usbdisk)が異なる場合は、適宜読み替えて実行してください。

```
# sync
# umount /media/usbdisk
```

OS インストールの注意事項（Windows 編）

シームレスセットアップ

EXPRESSBUILDER Version 5 以前におきまして、Express Picnic などから作成する「パラメータファイル」の保存先として、Flash FDD を使用することはできません。

マニュアルセットアップ

ご使用の環境によっては、マニュアルセットアップを実施する前に EXPRESSBUILDER にて OEM-Disk を作成する必要があります。

Flash FDD を使用して OEM-Disk を作成する方法は、フロッピーディスクを使用する場合と同様です。

重要

- Flash FDD が接続可能な本体装置であれば、本体装置に添付されている EXPRESSBUILDER にて OEM-Disk データを Flash FDD に書き込むことが可能です。
  Flash FDD が接続可能な本体装置は、販売店または当社営業にお問い合わせください。

- 以下の OS のマニュアルセットアップにおいて OEM-Disk をご使用の場合は、本体装置の電源を ON する前に Flash FDD を本体装置に接続してください。

  － Windows Server 2003 x64 Editions, Windows Server 2003

マニュアルセットアップを実施する場合、本体装置の電源を ON する前に Flash FDD を本体装置に接続してください。

OS インストールの注意事項（Linux 編）

ドライバディスクの作成について

シームレスセットアップ、またはマニュアルセットアップを実施する前にドライバディスクデータを書き込んだ Flash FDD を用意しておく必要があります。

Flash FDD を使用してドライバディスクを作成する方法は、フロッピーディスクを使用する場合と同様です。

重要

- Flash FDD が接続可能な本体装置であれば、インストレーションサプリメントガイド(または、インストール代行説明書)の手順に従うことでドライバディスクデータをFlash FDDに書き込むことが可能です。
  Flash FDD が接続可能な本体装置は、販売店または当社営業にお問い合わせください。

ドライバディスクの接続について

ドライバディスクとして作成した Flash FDD を Linux のインストールに使用する場合、本体装置に接続するタイミングによっては、インストール時に Flash FDD を正常に認識できず、ドライバディスクの適用ができない場合があります。セットアップ方法に応じて以下の手順に従い作業してください。

マニュアルセットアップ

インストールディスクから本体装置を起動し、boot:プロンプトが表示されたら Flash FDD を本体装置の USB コネクタに接続してください。
Flash FDD のアクセスランプが消えるのを確認した後、インストレーションサプリメントガイド(または、インストール代行説明書)を参照して以後のセットアップ作業を実施してください。

シームレスセットアップ

本体装置添付のユーザーズガイドを参照し、Linux のシームレスセットアップを開始してください。「Step11 自動インストールの開始」画面において[実行する]をクリックした後、再起動を促すメッセージが表示されるまで作業を進めます。以後の手順は以下に従ってください。

1. [再起動]ボタンをクリックし、本体装置を再起動します。

2. POST 終了後、以下のようなドライバディスク接続要求メッセージが表示されるかを確認します(本体装置によって表示が若干異なる場合があります)。

```
SYSLINUX 3.51 2007-06-10 EBIOS Copyright (C) 1994-2007 H. Peter Anvin

Starting Installation.

 -  If you have a driver disk, plug or insert it into this system.

Press <ENTER> to continue ...
boot: _
```

- <u>メッセージが表示される場合</u>
  Flash FDD を本体装置の USB コネクタに接続し、アクセスランプが消えるのを確認してから[Enter]キーを押します。以後のセットアップ作業は、本体装置のユーザーズガイドを参照してください(以下の3.以降の作業は不要です)。

- <u>メッセージが表示されない場合</u>
  インストールカーネルが起動し、「Do you have a driver disk?」の確認画面が表示された場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して本体装置を再起動します。続けて以下の3.以降の作業を実施します。

3. POST が終了する少し前あたりから[Shift]キーを押し続けます。
   以下のメッセージが表示されたら[Shift]キーを離します。

```
SYSLINUX 3.51 2007-06-10 EBIOS Copyright (C) 1994-2007 H. Peter Anvin
boot: _
```

   本画面が表示されなかった場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して本体装置を再起動し、再度やり直します。

4. Flash FDD を本体装置の USB コネクタに接続します。アクセスランプが消えるのを確認してから[Enter]キーを押します。

5. インストールカーネルが起動し、「Do you have a driver disk?」の確認画面が表示されたら[Yes]を選択します。

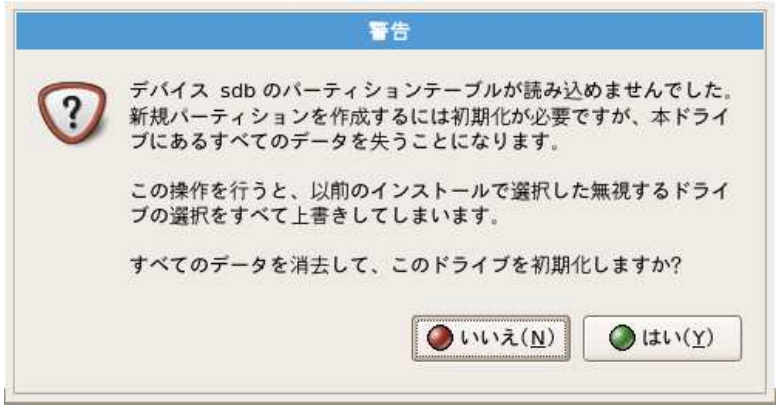
6. 複数のリムーバブルデバイスを接続している場合は Driver Disk Source ウィンドウが表示されますので、ドライバディスクの読み込み先を選択します(通常、/dev/sda を選択してください)。

7. Insert Driver Disk ウィンドウが表示されたら、[OK]を選択します。
   以後のセットアップ作業は、本体装置のユーザーズガイドを参照してください。

Insert Driver Disk ウィンドウが表示されない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して本体装置を再起動し、再度3からやり直します。

インストール時に「警告」メッセージが表示された場合

Red Hat Enterprise Linux 5 や Asianux Server 3 では、Flash FDD を本体装置の USB コネクタに接続した状態でインストールを行う場合、以下のような「警告」メッセージを表示することがあります。この場合は、[いいえ]を選択してください。



また、誤って[はい]を選択した場合は、その後の処理で以下のような[例外発生]メッセージを表示することがあります。この場合は、[OK]を選択してください。インストールに失敗し、再起動となりますので、再度、インストールを実施してください。

取り扱い上の注意事項

使用上のご注意

使用する前

- 使用する Flash FDD が、外的損害を受けていたり、または変形したり、曲がっているときは、使用しないでください。
- 本製品の使用温湿度条件以外で保管されていたものを使用する場合や、保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、温度変化が 1 時間に 10℃以下になるようにして、使用場所の温度になじませてください。

使用した後

使用後の Flash FDD は、必ずキャップを閉じ、チリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

一般的注意事項

- **本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください。**

  本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏洩するおそれがあります。個人情報が第三者に漏洩したために損害が生じた場合、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。
- Flash FDD をデータのバックアップ用として使用しないでください。

  Flash FDD に記録されたデータの補償につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- Flash FDD は消耗品です。

  エラーが発生した Flash FDD は使い続けず、新しい Flash FDD を使用してください。
- Flash FDD に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 分解しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 本体装置への取り付けは、ていねいに行ってください。

製品の取り付け／取り外しについて

１．準備確認事項

(1) 危険防止及び故障防止のため作業を行なう際には、本体装置の電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け／取り外し時の電源スイッチの OFF および電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。

(2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け／取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。
また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。

(3)ケーブルの取り扱い
ＬＡＮケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。
帯電した状態で入出機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。

注） 静電気除電キットについて
下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。
品名：ＬＡＮケーブル除電治具
型名：ＳＧ００１　（東京下田工業（株）製）

製品仕様

本装置の仕様について記載します。

■ 性　能

記憶容量	1.44Mbyte
USB インタフェース	USB2.0
USB コネクタ	USB 標準 A シリーズ

■ 寿命

5 年または、USB コネクタの挿抜回数で 1500 回

ただし、6000 回の消去/書込み後の製品寿命は、1 年

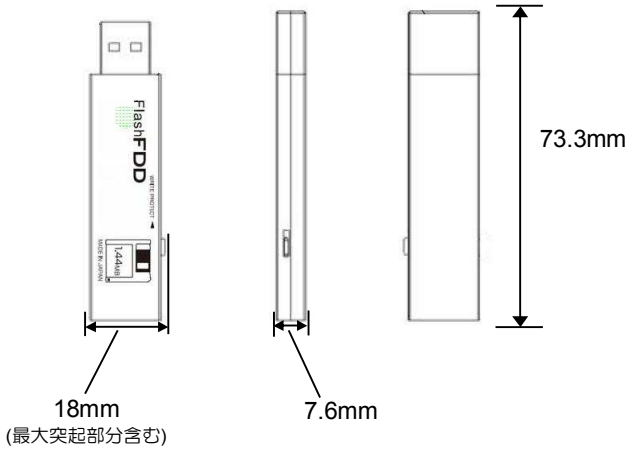
■ 環境条件

使用時	温度: 10℃～40℃ 湿度: 30%～80%（結露なきこと）
非動作時	温度: －20℃～85℃ 湿度: 30%～85%（結露なきこと）

■ 電源仕様

動作電圧	DC5V±5% （USB バスパワー）
消費電流（動作時）	200mA 以下

寸法・重量



重量：10g

運用状況お客様記入シート

本製品を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
本体装置モデル名	
オペレーティングシステム（OS） （名称、バージョン、サービスパック／パッチの適用状況）	
Flash FDD 使用状況 （使用回数や使用開始月の管理方法など）	
Flash FDD の管理状況	

トラブルシューティングチェックリスト

本製品が思うように動作しない場合は、以下のチェックリストの内容にしたがって、本製品をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、処置にしたがってください。

項番	症状	処置
1	❑ EXPRESSBUILDER が起動しない。	❑ 本製品が Windows からフォーマット済みと認識されているかどうかを確認してください。未フォーマットと認識されている場合はフォーマットしてください。 ❑ 本体装置の BIOS 設定にて USB KEY が CD より上位に設定されていないか確認してください。
2	❑ Flash FDD が正しく認識されない。	❑ 本体装置が接続対象装置かどうか確認してください。 ❑ 本製品が Windows からフォーマット済みと認識されているかどうかを確認してください。未フォーマットと認識されている場合はフォーマットしてください。
3	❑ EXPRESSBUILDER にて OEM-Disk の作成ができない。	❑ Flash FDD のライトプロテクトが書き込み不可設定になっていないか確認してください。 ❑ 本製品が Windows からフォーマット済みと認識されているかどうかを確認してください。未フォーマットと認識されている場合はフォーマットしてください。
4	❑ ハードディスクにインストールされたＯＳが起動しない。	❑ Flash FDD を本体装置に接続されていませんか。OS インストールを実施するとき以外は、OS 起動後に Flash FDD を本体装置に接続してください。
5	❑ ＯＳインストールディスクが起動しない。	❑ 本体装置の BIOS 設定にて USB KEY が CD より上位に設定されていないか確認してください。

VCCIについて

　この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
　取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

N8160-96
Flash FDD ユーザーズガイド

2017 年 2 月　2 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL(03)3454-1111（大代表）

© NEC Corporation 2014
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。